



単位量あたり「基準の量」



こみぐあいの問題では、1m²あたりなどといいました。
 単位量あたりの問題は、1m²あたり〇人などの基準の量に対して、その何倍（いくつ分）が、比べる量になっているか、ということを探します。

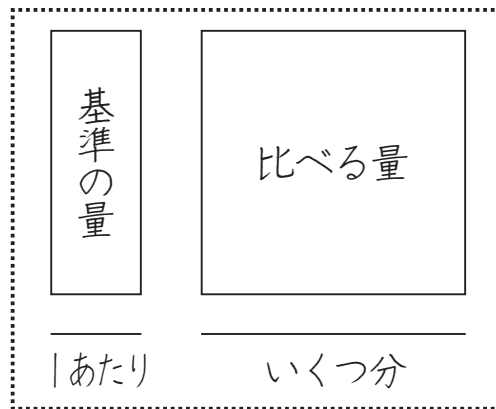
基準の量になるものとして、1個あたり何円、1個あたり何gなど1つのかたまりを基準とするものもありますし、1m²あたり何個（種をまく問題）、1cm²あたり何gなどの面積を基準とするもの、また1cm³あたり何gなどの体積を基準とするものもあります。

さらに、1時間あたり何kmなど、時間を基準とするものとして、速度の問題があります。

これら単位量あたりの問題は、中学生になっても重要な内容になりますので、しっかり習熟しましょう。

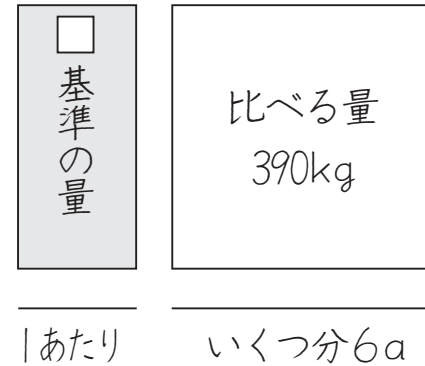
割合などでも使用したかけ・わり図をかきます。

問題文を読んで、基準の量、比べる量、いくつ分は何か、図にかきこみます。ここで、求めるものが何かをはっきりさせます。



単位量あたりの3用法を調べてみましょう。

① 第1用法



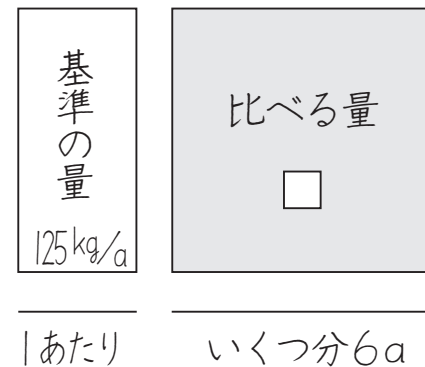
$$\text{比べる量} \div \text{いくつ分} = \text{基準の量}$$

6aの田んぼから390kgの米がとれました。1aあたり何kgの米がとれましたか。

$$390 \div 6 = 65$$

$$\underline{65\text{kg/a}}$$

② 第2用法



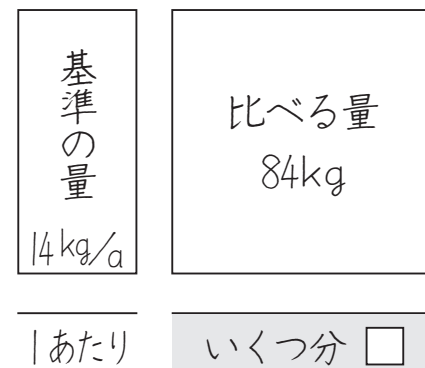
$$\text{基準の量} \times \text{いくつ分} = \text{比べる量}$$

1aあたり125kgのみかんがとれる畑があります。6aからは何kgのみかんがとれますか。

$$125 \times 6 = 750$$

$$\underline{750\text{kg}}$$

③ 第3用法



$$\text{比べる量} \div \text{基準の量} = \text{いくつ分}$$

1aあたり14kgの豆がとれる畑があります。84kgの豆をとるには、何aの畑が必要ですか。

$$84 \div 14 = 6$$

$$\underline{6a}$$